



福島県の教育

福島ならではの教育

- ・「福島らしさ」をいかした多様性を力に変える教育
- ・福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育

いわき市の教育

- ・次代のいわきを担う「生きる力」を身につけた子どもの育成
- ・夢に向かってチャレンジする子どもの育成

児童の実態

- ・他を思いやり、互いを認め合いながら仲良く和やかに過ごしている
- ・学力調査の結果は、概ね全国水準と同程度である
- ・自分で判断し、考えを伝えたり行動したりできる力を伸ばす必要がある

保護者・地域の願い

- ・基本的な生活習慣の育成
- ・進んで学ぶ意識の醸成
- ・社会の一員としての貢献

教育目標

考える子ども

思いやりのある子ども

健康な子ども

～ 逞しさとしなやかさを兼ね備え、社会を生き抜く人間の育成をめざして ～

- 本年度の重点目標を「めあてをもって挑戦し、思いを表現できる子ども」とし、一人一人が学校生活の中で目標を持って取り組み、自ら思考・判断・表現することで、「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた生きる力を育むことができるようにする。
- 児童が関わり合いを通して学ぶことの楽しさを味わい、自己の変容を実感することで自己肯定感や自己有用感を高めることができるよう教育課程の重点化を図り、教育目標の具現をめざす。

- 思考力・判断力・表現力を高めることができる
- 学ぶ楽しさを感じることができる

- 仲間と協力して物事に取り組むことができる
- 自他を大切にすることができる

- 健康な体と粘り強さをもって生活できる
- 自分の命を自分で守ることができる

1 学力の保障

- 児童の実態に応じ、思考力・判断力・表現力を育む時と場を設定した単元構想
- 学ぶ楽しさを感じ、対話を通して学びを深めることのできる授業実践
- 個に応じた指導の充実
- ICTの活用等による個別最適な学びの推進

2 学ぶ楽しさを味わうことのできる環境整備

- カリキュラムマネジメントの推進による教育活動の重点化・焦点化
- 学校図書館の活用と読書活動の推進
- キャリア教育の推進

1 協調性を育む心の育成

- 考え、議論する道徳の授業における自他を認め合う場の設定
- 体験的な活動の充実を通じた他と関わる喜びの醸成
- 自己肯定感・有用感を持たせる「認め合い」の場の設定
- 「自分から」あいさつができる雰囲気醸成

2 一人一人を大切にできる環境

- 特別支援教育の視点の重視と実践
- いじめの早期発見・積極的な認知と継続的対応
- 教育相談の充実
- 幼保小連携・小中連携・小中連携の充実

1 運動の習慣化、体力向上

- 体力向上推進計画に基づいた組織的・計画的な指導
- 児童の実態と発達段階に応じ運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育の授業の展開
- 運動身体づくりプログラム等による運動感覚の育成
- 運動環境の充実と遊びを通じた運動の日常化

2 健康・安全教育の実施

- よりよい生活習慣や食習慣の定着をめざした健康教育・食育の推進
- より安全で安心な生活を送るための安全教育の充実

子どもと共に学ぶ教師集団

- 高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、児童生徒に伴走しながら学び続ける教員
- 心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかして教育ニーズに対応する教員
- 児童の実態を踏まえ、身につけさせたい力を明確にした授業実践

子どもを共に育てる家庭・地域との連携

- R-PDCAサイクルによる児童の「自己マネジメント力」の育成
- 基本的な生活習慣と自己肯定感・有用感を育むための家庭との連携
- 家庭学習の充実、読書の機会の充実
- 学校地域連携協働体制の充実